

## 「中国・アジア」ダイジェスト

2013.07.15-07.29

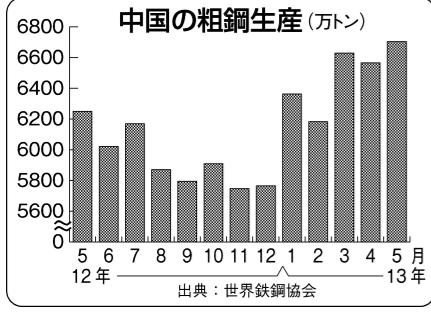
\*記事は東京発行・最終版

CHINA

7月15日(月)

工作機械、実用タイプに脚光  
上海見本市／自動化ニーズ高まる  
7月上旬に上海市で開催された「上海国際工作機械見本市」では実用的な機種を中心に出展し成果を得た。華東地区では、賃金上昇などを背景に自動化ニーズが高まっている。(6面)

中国鉄鋼・過剰生産続く  
市況悪化／主要国は減産基調  
中国鉄鋼業の膨張が止まらない。景気に失速感が漂う。それでも現地製鉄メーカーは需要を上回る生産を継続。主要国鉄鋼業では減産基調が定着。世界の市況悪化を招いている。(8面)



VOCモニタリング機器を投入  
大和化学／現地自治体と協力  
大和化学工業は、広東省佛山市や同市南海区政府と協力、揮発性有機化合物(VOC)の24時間連続測定オンラインモニタリング機器を販売する。2カ所でフィールドテストを実施する。(17面)

7月16日(火)

中国の成長減速、7.5%増  
4月GDP／2期続けて鈍化  
中国の2013年4月GDPは、物価動向の影響を除いた実質ベースで7.5%増にとどまった。伸び率は1月3月期の7.7%を下回り、2期続けて鈍化。景気減速が鮮明に。(時事=2面)



アマダ、上海に展示・営業施設  
地域統括会社・工場と一体

アマダは、上海事業所に展示・営業施設のテクニカルセンターを開設した。上海事業所は5月に開業した地域統括会社の本社社屋や板金機械の工場、バーチセンターなどからなる。(6面)

キッキン3社、中国で攻勢  
新工場／住空間を提案／再進出

日本のキッキンメーカー3社が中国で攻勢。LIXILは青島市の合弁会社の新工場が稼働。パナソニックは直営店を設け住空間を提案。クリナップは日本の大手住宅メーカーと再進出。(11面)

7月17日(水)

中国の「影の銀行」を警戒  
財務相／新興国の減速、影響少ない

麻生太郎財務相は、新興国の景気減速は「日本のGDPの伸びを著しく損ねるとは思っていない」。中国の「影の銀行」は「大きな影響を与える可能性を秘めている感じがする」。(2面)

日中欧の成長戦略に注目  
米財務次官／中国、金融政策の必要性理解

ブレイナード米財務次官は、G20で

「中・欧・日から成長戦略に関する説明を聞きたい」と述べた。「中国の新指導部は、過剰な貸し出し拡大への対応の必要性を理解している」。(時事=2面)

津田駒、中国工場能力3倍  
移転拡張／ウォータージェット織機

津田駒工業は、ウォータージェット織機の中国工場を移転拡張し、月産能力を3倍の300台に引き上げた。常熟市に子会社が新工場を建設した。織機メーカーからの需要増に対応。(9面)

7月18日(木)

日本企業、迫られる戦略転換  
減速する中国经济

曲がり角を迎えた中国经济。成長の一翼を担った地方政府とシャドー・バンキングの関係が根深いだけに、中国の成長率は6%台まで冷え込む見方も。日本企業はどう向き合うのか。(2面)

对中国投資、6月20%増  
1月6月／4.9%増619億8400万ドル

世界からの対中国直接投資は、6月は前年同月比20%増の143億8900万ドルとなった。1月6月累計は前年比4.9%増の619億8400万ドル。アジア10カ国・地域から5%増。日本は14%増。(時事=2面)

中央製作所、中国で生産  
樹脂製自動車部品／アイシン向け

中国でEMC事業

三菱電機エンジニアリングは、中国でEMCノイズ対策・安全認証サービスを始める。グループ企業が集積する上海に事務所を開設する。中国でもEMC関連の規制が厳しくなっている。(9面)

7月19日(金)

産口ボ、世界5割増  
中国で自動化進む

2011年の産業用ロボットの世界市場は48.9%増の84億9800万ドルだった。リーマン・ショックの2008年に62億ドルを超えて急回復。日米独が回復。中国で自動化が進み輸入急増。経産省調べ。(2面)

中国で「アクユラ」現地生産  
ホンダ／現地化で競争力を

ホンダは、広州汽車集団と中国で高級車ブランド「アクユラ」を現地生産することで合意した。現地化で車両の競争力を高め、販売の底上げを狙う。現在6車種を現地で輸入販売。(5面)

7月20日(土)

日立造船、中国で4機組立て  
シールド掘進機6機受注

日立造船は、シンガポールの超高压電線ケーブル用トンネル工事に使う6.88メートル径のシールド掘進機6機を大林組などから受注した。6機中4機を中国の協業先で組み立てた。(7面)

7月21日(日)

マグネ合金フレーム開発で提携  
仮フォルシア／一汽铸造

仮フォルシアは、第一汽車集團傘下の自動車用铸造部品メーカー・一汽铸造と、マグネシウム合金製シートフレームの開発で提携した。スチール製と比べ25%軽量化できる。(5面)

中央製作所、中国で生産  
樹脂製自動車部品／アイシン向け

中央製作所は、中国で樹脂製自動車部

7月22日(月)

レクトリックインドネシアの工場を拡張、9月末をめどに2輪車向けワイヤハーネス(組み電線)の生産能力を現状比約3割拡大する。(6面)

7月23日(火)

マグネ合金フレーム開発で提携  
仮フォルシア／一汽铸造

仮フォルシアは、第一汽車集團傘下の自動車用铸造部品メーカー・一汽铸造と、マグネシウム合金製シートフレームの開発で提携した。スチール製と比べ25%軽量化できる。(5面)

中央製作所、中国で生産  
樹脂製自動車部品／アイシン向け

中央製作所は、中国で樹脂製自動車部

品の生産を始める。9月に中国陝西省楊凌示范区に工場を設け、アイシン精機の中国拠点向けに納入する。アイシンの中国拠点に対応。(25面)

7月24日(水)

上海に新技術センター

仮フォルシア／中国事業マネジメント

仮フォルシアは、上海市に新技術センターを開設。中国事業のプログラムマネジメントに加え、主要4事業のうち自動車用シートとインテリアなど3事業の研究開発のハブ拠点。(5面)

ソガミ、アジアで攻勢

旋盤の低価格機／中国で内製徹底

ソガミは、アジアの自動車部品加工の需要開拓に向け、タレット型旋盤のベーシック機を発売した。中国工場で内製を徹底、下限で400万台とアジアメーカーに対抗。月产能能率500台。(6面)

三菱電機、冷蔵庫の開発で合弁

合肥晶弘電器／設計で技術収入

三菱電機は、中国の合肥晶弘電器と冷蔵庫の開発合弁会社を設立した。大容量タイプを製品化。生産や販売は踏み込みます、開発や設計で技術収入を得る。中国の冷蔵庫市場は年7000万台。(8面)

7月25日(木)

プリンス、中国でスキー場運営

吉林省・松花湖国際リゾート／8万人集客

プリンスホテルは、中国の万科企業が開発する吉林省松花湖国際リゾートで、スキー場とホテルの運営を受託。2014年12月オープン。リゾート開発のノウハウ生かす。6万8万人の集客。(3面)

7月26日(金)

上海の小学生30人招待

京セラ／モノづくり現場見学

京セラは、中国の小学生を日本に招待する「中国少年友好交流訪日団」を実施する。上海市の小学生30人。東京ディズニーランドや同社の滋賀八日市工場を訪問する。(13面)

TEL OP

中国でバイオ医薬受託製造  
独ベーリングー(15日8面)

中国新車販売、6月11%増  
175万台4100台(時事=16日5面)

中国でビル管理事業に参入  
伊藤忠アーバンコミュニティ(16日11面)

南京に不動産開発の合弁  
コマニー(17日17面)

EU・中国、交渉暗礁に  
太陽光パネル不当廉売(時事=18日15面)

中国・吉林省で不動産開発  
丸紅と三菱地所レジデンス(19日12面)

上海でFTA交渉  
日中韓/30日から(時事=22日2面)

日中高速VTPN  
スターイティア(22日10面)

出光、重慶に営業所  
潤滑油/年3300㎘(22日16面)

ATM部材、中国全土に輸送  
OKIとヤマトHD(22日17面)

中国国営製の太陽光パネル投入

センチュリースバルソーラー(23日8面)

世界の粗鋼生産量、6月1.9%増  
中国の増産けん引(23日11面)

中国語専用ラベルライター  
キングジム(23日16面)

日立、昇降機新工場が稼働  
年1万台1000台/成都(24日8面)

オタフクソース、中国生産  
年300万台/青島工場(24日15面)

海水取水技術、中国などで実証  
ナガオカ/淡水化設備向け(25日15面)

ひと

内需は堅調、十分伸びている  
成長鈍化が指摘される

中国経済。だが「ちょっと違う印象だ」とJFE

コンティナー社長の小野定男さん、中国子会社の

株主総会で現地を訪問した。欧州向けなど輸出産業は低調だが「内需は堅調、決して悪いない」。また「計画に届かないが、十分伸びている」。(22日=14面)

ASIA

7月15日(月)

韓国LG290万台日本投入  
太陽光パネル／高出力省スペース  
韓国・LGエレクトロニクスは、出力290万台の太陽光パネルを日本市場に投入する。出力は10%以上向上。パネル面積が小さいため、スペースを有効利用してメガソーラーを建設できる。(1面)

鶴見製作所、韓国に新工場  
真空ポンプ組み立て

三菱アルミ、タイ・米で増産  
熱交換器アルミ部品／年2万台

三菱アルミニウムは、タイと米国で熱交換器用アルミ押出チューブを増産する。2拠点合計の生産能力を約36%増の年間約2万台に。冷暖房空調設備のアルミニ化による需要拡大。(8面)

7月16日(火)

日産「ダットサン」披露  
インドで新興国専用ブランド生産  
日産自動車は、インドで新興国専用ブランド「ダットサン」の第1弾モデルとなる「GO」を披露した。チムナイ市郊外の車両工場で生産し、2014年初に40万台(約66万円)以下で発売。(2面)

コンテック、アジアを開拓  
産業用パソコン／医療・介護

コンテックは、ASEANなどアジアを開拓する。シンガポール拠点を活用、タイやミャンマーなどで主力の産業用パソコンや通信モジュールに加えて、医療・介護や広告などを拡大する。(7面)

ベトナムに鋼材加工センター  
JFE商事／年4000㌧

JFE商事は、ベトナム・ハイフォン市に鋼材加工センターを設立し、2014年7月に稼働させる。加工能力は月4000㌧。電機メーカーの進出が相次ぐ。鋼材需要を獲得する。(10面)

GPS、アジアで活発化  
インド：打ち上げ／タイ：中国版導入

インド版GPSの初めての衛星打ち上げや、タイやラオスなど東南アジアでの中国版GPSの導入をめぐり、動きが活発化してきた。産業利用や安全保障面で整備を急ぐ。(13面)

ホーチミン低炭素都市を支援  
大阪市／支援本部を設置

大阪市は、ベトナム・ホーチミン市

に、低炭素都市形成に向けた官民連携の技術協力を始めた。支援本部を設置